

新久喜

発行
日本共産党
久喜市委員会
久喜市南4-11-22
Tel.22-2365

野党共闘で安倍政治を転換

共産党躍進で戦争法廃止へ

参院選が、3カ月後に迫って来ました。日本の命運がかかった歴史的なたたかいになります。この間、安倍・自公政権によって戦後最悪の違憲立法―安保法制―戦争法の強行採決という暴挙が行われました。

この法律をそのままにしておくと、日本はどうなるのでしょうか。第1は、南スーダンのPKOに派遣されている自衛隊は、武器使用ができ戦闘に巻きこまれます。戦後始めて外国人を殺し、殺される危険性が現



実のものとなります。第2は、立憲主義の破壊という問題です。「憲法9条の下では集団的自衛権は行使できない」というこれまでの憲法解釈を、内閣の専決で180度覆したことです。

国会で多数をもつ政権党であっても憲法の枠組みに反する政治を行ってはいけません。立憲主義破壊を認めれば、法治国家でなく独裁政治の始まりです。

この動きに反対して、戦後かつてない新しい市民運動がわき起こり、その力は「野党は共闘」の声へと発展しています。

日本共産党は、歴史上初

戦争法廃止集会とパレード

4月9日、久喜総合文化会館において「安保閣連法」の廃止を求める東埼玉連絡会が元自衛官の泥憲和さんを招き、講演と参加者による市内パレードが行われました。

講演では、「日本が海外での軍事作戦に協力すればテロの対象になる。PKO活動で武器を

使用し戦闘になれば自衛隊に戦死者がでる。憲法9条を守ることが平和な日本の国づくりになる」と元自衛官としての体験談をまじえた迫力ある講演でした。

パレードには、330人を超える人が参加、「戦争はいやだ・九条守れ」「戦争法は廃止」の声が久喜市内に響き渡りました。

めて全国32参院選1人区すべてに、野党共闘を呼びかける選挙協力をいち早く提案、5野党合意が成立しました。自公と補完勢力を少数に追い込み、政治を根本的に転換するため、予定候補者を先頭に全力を上げます。

日本共産党参議院

埼玉選挙区予定候補者



伊藤 岳

日本共産党参議院

比例代表予定候補者



おくだ 智子

2000万人署名 署名に協力を

安保法制―戦争法廃止を求める「2000万人署名」活動を多くの民主団体や個人が、昨年から全国で実施しています。

久喜市でも、日本共産党支部、後援会などの活動で9000人を超える署名が集まっています。協力いただいた多くのみなさまから「昨年の国会を取り囲む廃案の声を忘れていません」「戦争だけは絶対ダメ」などの声が、署名に反映され、「野党は共闘」の流れに、署名が大きな役割を果たしています。

今後地域の方々には、さらなる署名へのご協力をお願い致します。

日本共産党大演説会

5月28日(土) 14時から
久喜総合文化会館小ホール



弁士

塩川 鉄也

衆議院議員

トランプ

憲法が生きる
平和な日本へ

戦前の日本は日清、日露戦争に始まり、第二次世界大戦の終戦まで、50年間も他国への侵略戦争に明け暮れ、そのため国民は食にもありつけず、生命・財産にもおよび耐え難い苦痛を経験し、1945年敗戦を迎えました。これらの戦争や国内外の世論に押され、「不戦の誓い」と民主・自由・基本的人権が明記された現憲法が1947年5月に公布されました。

ところが、昨今、「憲法改正」の報道が首相官邸を震源地としてマスコミを揺るがしています。

とんでもない 自民党改憲案

自民党結党時からの改憲案とは、①9条2項を削除して「国防軍」とし、海外での武力行使を際限なく可能にする。②「緊急事態条項」を創設し「戒厳令」に道を開く。③基本的人権を制約していく。など今の憲法から再び戦前の国家統制へと逆戻りです。

改憲を急ぐ安倍内閣は、教育やマスコミへの介入などあらゆる手段で「明文改憲」を加速させており、まるでヒトラーの手法を想起させます。

子や孫の将来を考えると胸が痛みます。憲法が生きる平和な日本にしたいものです。(Y)